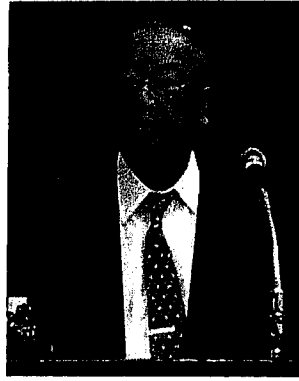


公共事業以外に内需拡大なし

藤井聡京大大学院教授が講演

主催〓県コンクリート製品協会

富山県コンクリート製品協会(富山市婦中町下1)の具民会館で研修会を開き、京都市大学院工



あいさつする小川会長(左)、講演する藤井教授



研究科教授の藤井聡氏が、「公共事業が日本を救う」をテーマに講演した。会場を埋め尽くした参加者190人は、講師

の話しを熱心に聞き入っていた。

冒頭、小川会長が、「公共事業が年々減少し、厳しい環境が続く中、公共事業のあり方について、講演を頂く」とは頼もしい味方。富山県も公共事業予算が低迷状態にあり、各社それぞれ生産計画を立てているが、われわれの基本は品質管理。安心して

講演に入り、藤井教授は、在京の大手メディアが公共事業を批判する要因を説明した上で、「日本の公共事業予算の水準は、世界の先進国の中で高くない。自然環境が厳しい分、まだまだやるべきことは多い。本当に公共事業はいらないのか」と訴えた。

大勢が詰め掛けた研修会＝5日、県民会館

て利用して頂ける商品を作るのが使命である義務。良き製品づくりが社会資本充実の一翼を担うものと確信している」とあいさつ。続いて、

「東海地震における(安全の代替手段の確保となる)リダンダンシー、日本国家の強靭性を高めるためには必要不可欠。新幹線がある地域は必ず発展する。富山には基礎体力をつけてほしい」とアドバイスした。

一方、「今後、老朽化したコンクリート構造物の大更新時代に入る。公共事業が増加することで、所得が増えることは

平成24年4月7日付 建設工業新聞掲載